

**おおしま歯科クリニック** 岡山市北区椋津317-12  
 TEL (086) 284-7277

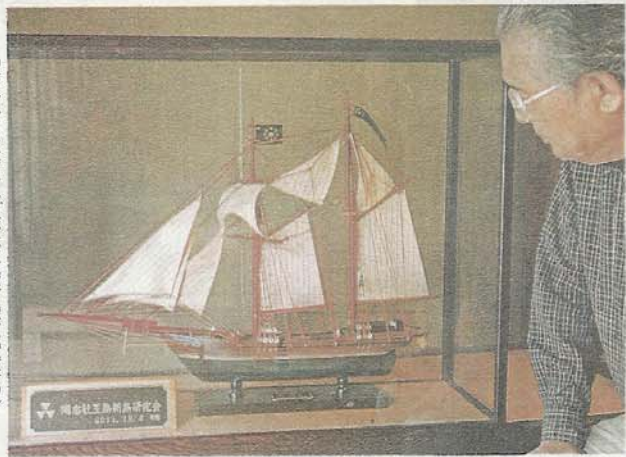
受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	○
午後 2:30~6:30	○	○	○	○	○	○	○
休診日	※	日	曜	・	祝	日	・
							木
							曜
							午
							後

# 夕刊 山陽新聞

2013年(平成25年)  
 8月5日  
 月曜日

発行所  
 ●山陽新聞社 岡山市北区柳町2-1-1  
 ●新聞製作センター 岡山市北区新屋敷町1-1-18  
 読者センター TEL 086-803-8000  
 開設お申し込み TEL 0120-34-4301  
<http://www.sanyo.oni.co.jp>

## 「八重の桜」ヒロインの夫、新島襄



「快風丸」の模型(同志社玉島新島研究会寄贈)

江戸中期、備中松山藩時 命を嘆願して同亭の座敷で代々の庄屋建築の遺構をよく残す倉敷市玉島の旧柚木家「西爽亭」。管理員が、熊田目刃に先立つ82年に渡辺寿己さん(61)は来訪者が、熊田目刃に先立つ82年に、同藩重臣・熊田怡新島襄の西爽亭来訪の逸話(1866年)の自刃話だ。安中藩(群馬県安中市)の江戸詰の下級武士の1808年の鳥羽伏見の戦いで幕府方が敗北した松山藩(江戸藩邸学問所)後、熊田は幕府老中だった藩主・板倉勝勝の命を受け、830(96年)に師事。そして玉島入り。しかし、同藩の推薦で藩主の許可を得る「朝敵」とされており、同藩が購入した米国製熊田は部下150余人の助の木造大型帆船「快風丸」

## 江戸からの航海で世界に視野を広げる 模型や絵はがきでPR



西爽亭に立つ「新島襄先生玉島上陸の地」の碑と案内板

で江戸から玉島まで航海し、同亭の座敷には、「広く自由な世界へ希望を抱いた。自叙伝には西爽亭で風呂を浴び「生き返った思いだった」ことが記され、この航海の中で欧米の文明や文化の高さを知って洋学への向学心を燃やしたとされる。2年後の64年、快風丸2度目の航海で江戸から函館へ航海し、函館から渡米を企てた。「古い町並みが趣のある玉島と、八重の夫の新島襄に歴史的な縁があったとえ、玉島の再評価につなげたい」と期待している。岡山市北区西幸川の会社員大倉一夫さん(56)、真由美さん(54)夫妻、旧柚木家住宅管理会の柚木爽一郎会長(65)によると「NHK「八重の桜」などで歴史に興味を持って訪れる人がこの「NHK21」をめぐり、

# 玉島に縁 注目度アップ



新島襄(同志社大提供)

NHK大河ドラマ「八重の桜」の放映に伴い、ヒロイン新島八重(1845~1932年)の夫で同志社大(京都)を創設した新島襄(1843~90年)ゆかりの地として、倉敷市玉島地区への注目が高まっている。幕末の1864年、21歳で国禁を犯して米国を目指して密出国する新島は、その2年前の玉島への航海で世界に視野を広げたとされる。地元では「若き日の新島に影響を与えた地」として広く知ってもらおうきっかけになればと期待している。(山崎隆夫)



19歳の新島襄が立ち寄った旧柚木家住宅「西爽亭」-倉敷市玉島

**ズーム** 新島襄の渡米 1864年に函館から密出国。上海経由で65年に米国マサチューセッツ州ボストンに到着し、8年間滞在。滞米中に洗礼を受けるとともにアーモストカレッジなどで学ぶ。この間、明治新政府により派遣された「岩倉遣欧使節団」(71~73年)に随行して1年余、米と欧州8カ国の教育制度の調査・視

察を行った。74年帰国し、75年に京都に同志社英学校(同志社大の前身)を創立。欧米の伝統的な総合大学を目指した。キリスト教布教のため2度、高梁市を訪れ、82年に高梁基督教会(同市柿木町)が設立された。八重とは76年に結婚、90年に46歳11カ月で病没する際、「グッドバイ、また会わん」と言い残したと伝わる。